



マルチパーカッションラックビブラフォン
Multi-Frame Vibraphones
Vibraphones multi-cadre

YVRD2700 YVRD2700G

取扱説明書
Owner's Manual
Mode d'emploi



組み立ての前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

Be sure to read "PRECAUTIONS" before assembly.

Assurez-vous de lire la section "PRÉCAUTIONS D'USAGE" avant le montage.

日本語

English

Français

JA

EN

FR

安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様をご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られるところに必ず保管してください。


■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

 注意喚起を示す記号	 禁止を示す記号	 行為を指示する記号
--	---	--

■ 「警告」「注意」「ご注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

 警告 「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	 注意 「傷害を負う可能性が想定される」内容です。	ご注意 「故障、損傷や誤動作、データの損失の発生が想定される」内容です。
--	--	--

警告

分解禁止



この製品を分解したり、改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。

取り扱い



次のような場所での使用や保存はしない。
火災、感電の原因となります。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近くなど）
- 温度が極端に低い場所
- 水気の近く（風呂場、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 雨水のかかる場所
- ホコリの多い場所
- 振動の多い場所



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。



この製品に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水やジュースなど）を絶対に入れない。
火災、感電の原因となります。

電源 / 電源アダプター



電源アダプター使用時、電源アダプターの電源プラグは、必ず AC100V の電源コンセントに差し込む。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。100V 以外では火災、感電の原因となります。



電源アダプター使用時、電源アダプターの電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたり、上に重いものを乗せたりしない。
電源コードに傷がつき、火災、感電の原因となります。



必ず指定の電源アダプターを使用する。
異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。他の電源による障害は、保証期間内でも保証できない場合もございますので、十分ご注意ください。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



たこ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



電源アダプターの電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、電源スイッチを切り、電源アダプターの電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

電池



電池を火の中に入れてない。
電池を下記の場所に置かない。

- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）や火の近くなど極端に温度が高くなるところ
- 温度や気圧が極端に低いところ
- ほこりや湿気の多いところ

破裂により、火災やけがの原因になります。



電池を分解しない。
火災、発熱、破裂、爆発、液漏れのおそれがあります。電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、失明や化学やけどなどのおそれがあります。



電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。
失明や化学やけどなどのおそれがあります。万一液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



使い切りタイプの電池は充電しない。
充電すると破裂や液漏れの原因になり、失明や化学やけど、けがなどのおそれがあります。



電池はすべて +/ - の極性表示どおりに正しく入れる。
正しく入れていない場合、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



指定以外の電池を使用しない。
火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。
新しいものと古いものを一緒に使用すると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



種類の異なる電池を一緒に使用しない。
アルカリとマンガンと一緒に使用したり、メーカーまたは品番の異なる電池と一緒に使用したりすると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。



電池を保管する場合および廃棄する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。
他の電池や金属製のものと混ぜると、火災、やけど、または液漏れによる炎症の原因になります。



長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体に入れたままにしない。
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、炎症や本体の損傷の原因になります。

異常に気づいたら



次のような場合は、直ちに電源を切って電源アダプターを取り外し、お買い上げの販売店に修理を依頼する。

- 電源アダプターの電源コードやプラグが破損したとき
- 異物が製品の内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 製品が（雨などで）濡れたとき
- 製品に異常や故障が生じたとき

注意

分解禁止



修理 / 部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしない。
必ずお買い上げの販売店に相談してください。



ガสปリングを分解することは、絶対にしない。
分解はガスの噴出によるけがや破損の原因になります。

組み立て



ラックおよび楽器の組み立て / 分解やラックへの楽器の取り付け / 取り外しは、床面が平らで丈夫な場所で行う。
ぐらついた台の上や傾いたり段差があるなど、不安定な場所では転倒するおそれがあります。



ラックに取り付けた楽器（シンバル、スネア等）の高さ調整を行う場合は、必ずその楽器を取り外して調整してから再び取り付ける。
楽器を付けたままでの調整は、手や指を挟むなど、けがの原因となります。



ラックパイプのサイズに合わないクランプなどを使って楽器の取り付けをしない。
転倒、落下などの原因となり大変危険です。



本書の組み立て方の説明をよく読み、手順どおりに組み立てる。また、定期的にネジやボルトを締め直す。
楽器が破損したり、けがをしたりする原因になります。



本体に付属のネジを使用する。
製品が落下して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

運搬 / 設置



楽器の組み立てや移動は必ず2人以上で行う。
1人で作業すると、楽器が破損したり、楽器が倒れてお客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



不安定な場所に置かない。
本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



楽器を移動するとき以外は、必ずキャスターのストッパーを左右2箇所ともかける。
楽器が移動したり倒れたりして、けがの原因となります。



キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみ行う。
傾いたところや凹凸のある道、じゃり道などでは楽器が倒れたり暴走したりしてけがをするおそれがあります。



キャスターを利用して移動するときには走らない。
楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。



持ち上げて運ぶ際は、必ず2人以上で、側枠を両手で持って運ぶ。
1人や側枠以外の場所を持つと楽器が分解したり転倒したりしてけがをするおそれがあります。



地震のときは、本体から離れる。
地震による強い揺れで本体が動いたり転倒したりして、けがをするおそれがあります。

取り扱い



必ず実行

楽器にがたつきや異音、振動があるときはすみやかに使用を中止し、各部のネジを締め直す。楽器が倒れてけがをするおそれがあります。



禁止

回転中のファンやプーリーに触れない。手をはさまれることがあります。



禁止

キャスターやペダルの下などの可動部分には、絶対に手や足を入れない。はさまれてけがをするおそれがあります。



禁止

楽器のまわりで遊ばない。身体をぶつけてけがをするおそれがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。



禁止

楽器にもたれかかったり、乗ったり、楽器の上に物を乗せたりしない。楽器が倒れたり、音板や枠を傷めたり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



禁止

小さな部品は、乳幼児の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。

- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

DMI-7 4/4

機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(1003-M06 plate bottom ja 01)

ご注意

製品の損傷を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱いに関する注意

- この製品を乱暴に取り扱わないでください。
内部回路が損傷するおそれがあります。
- 音板をグロッケン用マレットや、その他の硬いものでたたかないでください。
音板にへこみやキズができたり、音律が狂ったりする原因になります。
- 風通しの良いところで使用してください。
- 移動の際にはキャスターのストッパーが解除されていることを確認してください。また、平らな床面以外では、少し持ち上げるようにしてください。
安定して移動することができます。
- 移動の際は、衝撃を与えないように静かに運んでください。
楽器が破損する原因となります。
- 頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。
移動後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。
- 側枠を無理に持ち上げて、ガススプリングを脚部から引き抜かないでください。
動作不良、破損の原因になります。
- 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低いところ、雨や水のかかるところ、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。
楽器が変形したり、故障したりする原因になります。

- 本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。
楽器が変色 / 変質する原因になります。
- 劣化した摩耗部品の交換は、お買上げ店へご相談ください。
スイッチ・ボリューム・接続端子などの部品は、使用とともに性能が劣化するために“摩耗品”といわれています。劣化の進行度合いは、使用環境などによっても大きく異なりますが、劣化そのものを避けることはできません。
- 偏った位置にオプション楽器を取り付けしないでください。
転倒やオプション楽器の落下の可能性があり大変危険です。オプション楽器取り付けの際は必ず専用クランプをご使用の上、バランスよく配置してください。ラックフレーム・ラックパイプの外側へバランス悪く配置すると、転倒のおそれがあります。

■ 製品のお手入れに関する注意

- 音板のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。汚れが取れないときは、柔らかい布にエチルアルコールを少量含ませて使用します。シンナーやベンジン、濡れぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
音板の表面塗装を侵すなど、楽器を傷める原因となります。

お知らせ

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

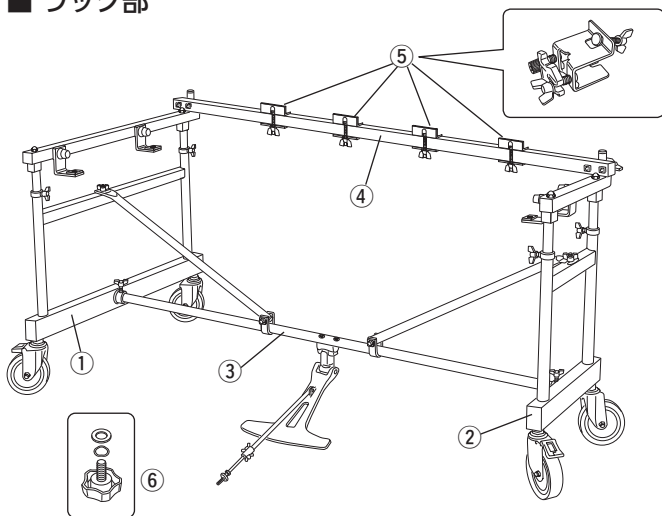
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

部品の確認

組み立ての前に、以下の部品がすべて揃っていることをご確認ください。

※部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

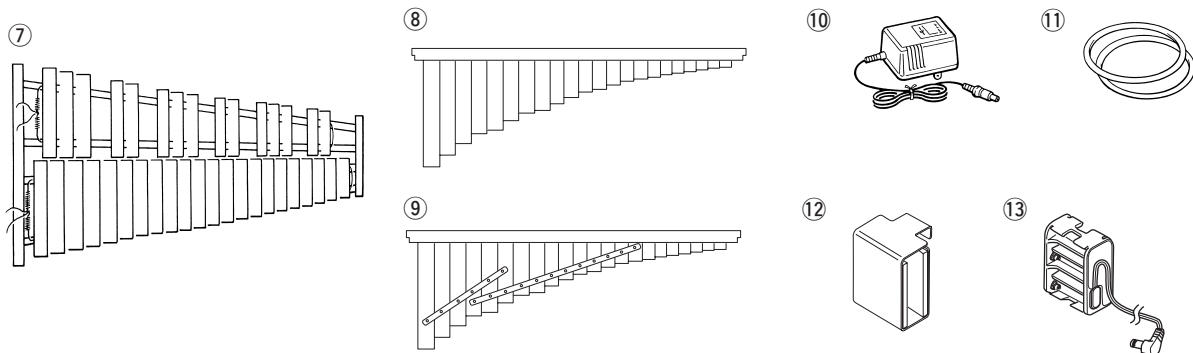
■ ラック部



- ① 脚 (低音側) × 1
- ② 脚 (高音側) × 1
- ③ ペダルステー × 1
- ④ ラックパイプ × 1
- ⑤ 専用クランプ (RDC-10) × 4
- ⑥ 楽器取付用ボルト / バネ座金 / 平座金 × 4 セット
- ⑦ ビブラフォン本体 × 1
- ⑧ 共鳴パイプ (幹音側) × 1
- ⑨ 共鳴パイプ (派生音側) × 1
- ⑩ 電源アダプター (PA-3C) × 1
- ⑪ 丸ベルト (ファンベルト) × 2
- ⑫ 電池ケースホルダー × 1
- ⑬ 電池ケース × 1 (※ 電池は別売りです。)

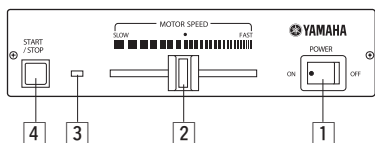
※⑫、⑬は日本向け製品のものに付属します。

■ 楽器部



■ ビブラフォン・ドライブユニット

● コントローラー (奏者面)



① 電源スイッチ (POWER)

電源のオン/オフを切り替えます。

② スライドボリューム (MOTOR SPEED)

ファンの回転スピードを調節します。

③ LED ランプ

電源オンで点灯します。ファン回転中は点滅します。

④ スタート/ストップボタン (START/STOP)

ファンの回転をオン/オフします。

⑤ 電源端子 (DC 12-15V IN)

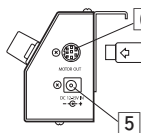
電源アダプターまたは電池からの端子を接続します。

⑥ モーター出力端子 (MOTOR OUT)

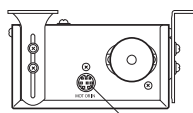
⑦ モーター入力端子 (MOTOR IN)

⑧ 8p-DIN ケーブル

● コントローラー (右側面)



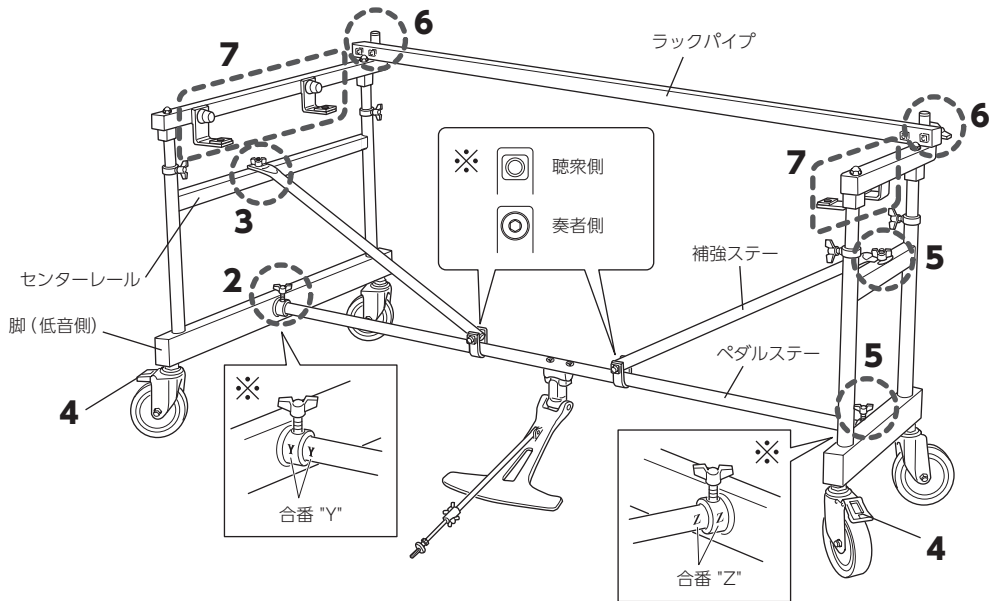
● ドライバー



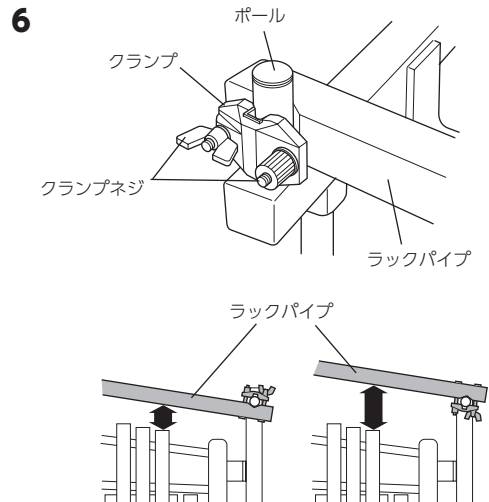
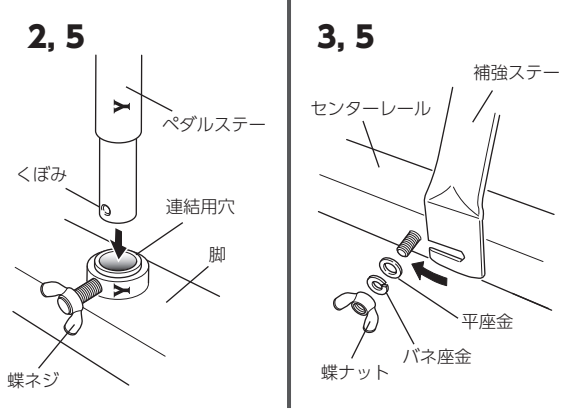
組立手順



安全のために、組み立ては2人以上で、十分スペースのある場所で行ってください。



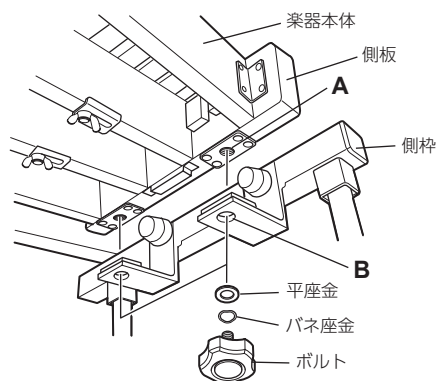
1. 平らな床面にじゅうたんや柔らかい布などを敷き、その上に脚 (低音側) を連結用穴がある側を上にして置きます。
2. 脚 (低音側) の土台側にある連結用穴に、蝶ネジの先がくぼみに当たる向きでペダルステーを止まるまで差し込み、蝶ネジを締めて固定します。
※ペダルステーの向きに注意して取り付けてください。部品には、組み立てを補助するための文字がついています。(上図※参照)
3. 脚 (低音側) のセンターレール部にある蝶ナット / バネ座金 / 平座金を外し、ネジ部に補強ステー先端のコの字部分を差し込み、さきほどの蝶ナットでバネ座金 / 平座金を締めて固定します。
4. 脚 (低音側) を起こし、キャスターのストッパーをロックします。
5. 脚 (高音側) も同様に、ペダルステーおよび補強ステーと接続します。
6. ラックパイプ両端のクランプネジをゆるめ、脚上部のポールをクランプではさみ、クランプネジを締めて固定します。
ラックパイプは、クランプのある面を奏者側にしても聴衆側にしても取付可能です。ラックパイプと音板との距離を考えて、お好みの向きで取り付けてください。



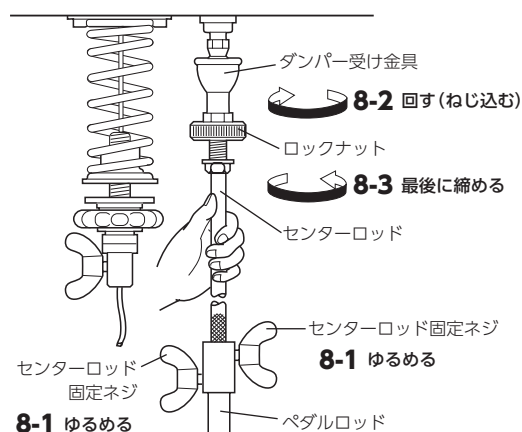
- 7. 楽器本体をラックに取り付けます。**
 楽器本体の側板にあるネジ穴 (A) がラックの側枠の穴 (B) の位置に合うように、楽器本体をラックにのせます。
 ラック付属のボルト/バネ座金/平座金を使って、ラックの下側から楽器本体をネジ止めます (4 か所)。



楽器本体をラックにのせる際、指をはさまないように注意してください。

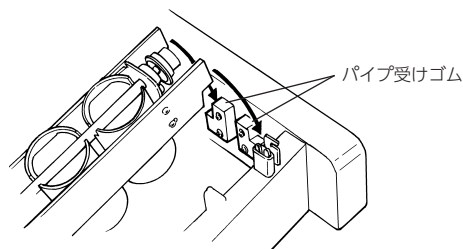


- 8. ペダルのロッドを楽器本体と接続します。**
- 8-1.** センターロッド固定ネジ (2ヶ所) をゆるめてセンターロッドをのばします。
- 8-2.** センターロッド先端のネジ部をダンパー受け金具へねじ込んで取り付けます。このとき、センターロッドを手で固定し、ダンパー受け金具を回してねじ込みます。
- 8-3.** 止まるまでねじ込んだら、ロックナットを締めて固定します。

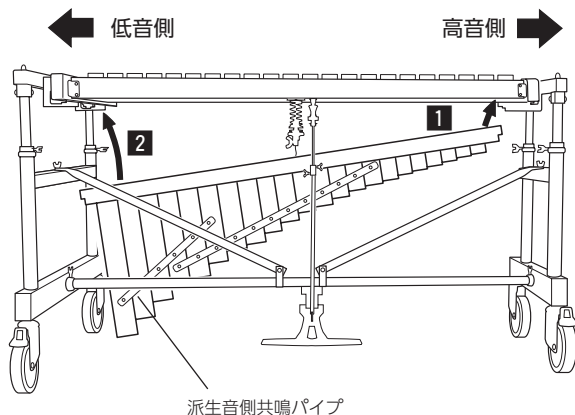
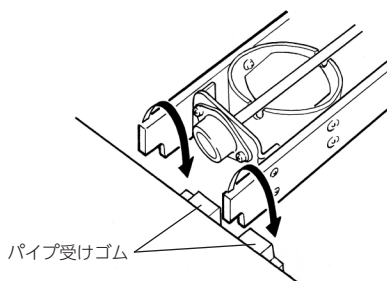


- 9. 共鳴パイプを取り付けます。**
 楽器本体の下側から共鳴パイプを差し込み、パイプ受けゴムの上にのせます。
 先に高音側をのせた後、低音側をのせます。
 ※ 幹音側、派生音側を間違えずに取り付けてください。
 ※ 共鳴パイプを脚などに当てないように、注意してください。

- 1** 先に高音側をパイプ受けゴムにのせます。



- 2** 低音側をはめる際には図のように中央のすきまをくぐらせ、受けゴムの間にはめ込みます。

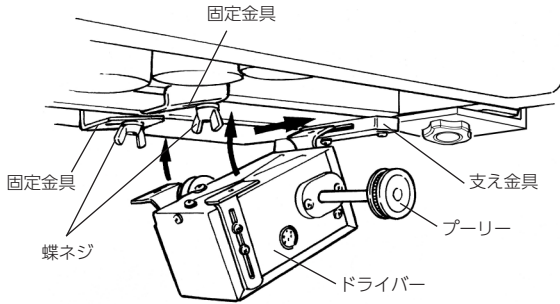


組立手順

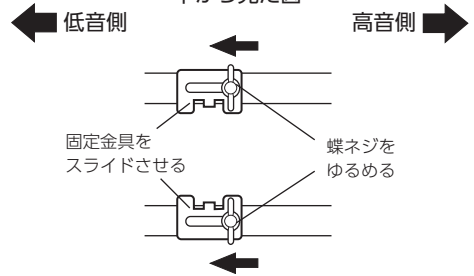
10. ドライバーを取り付けます。

10-1. 楽器本体の下面高音側に付いている蝶ネジを2ヶ所ゆるめ、固定金具を2つとも低音側にスライドさせます。

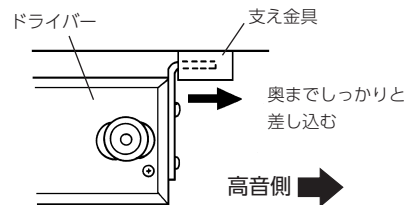
10-2. 支え金具にドライバーを奥までしっかりと差し込みます。



10-1 下から見た図

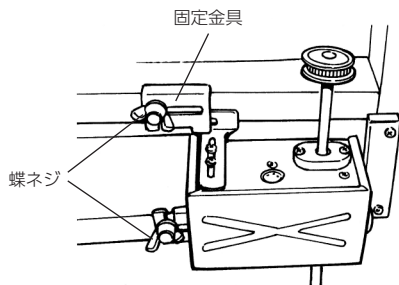


10-2 横から見た図

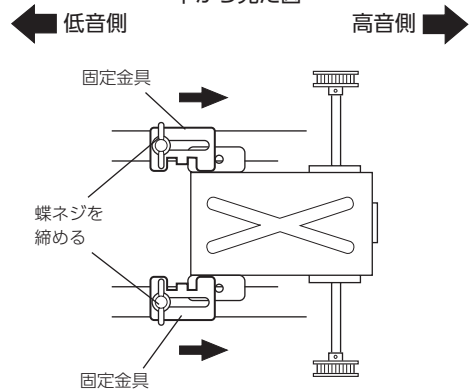


10-3. 手順10-1でスライドさせた固定金具を2つとも高音側へスライドさせ、ドライバーの取付金具をしっかりとフックした状態で、蝶ネジを締め付けてドライバーを固定します。

※ドライバーの両側のプーリーがファン側プーリーの真下に来るように取り付けます。

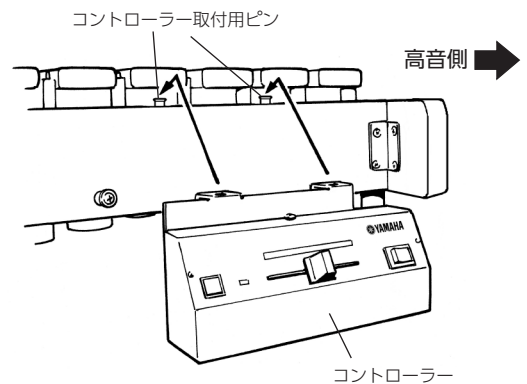


10-3 下から見た図



11. コントローラーを取り付けます。

楽器本体の高音側手前にコントローラー取付用ピン(2本)があります。このピンに、コントローラーの2つの穴を合わせて片側ずつはめ込みます。

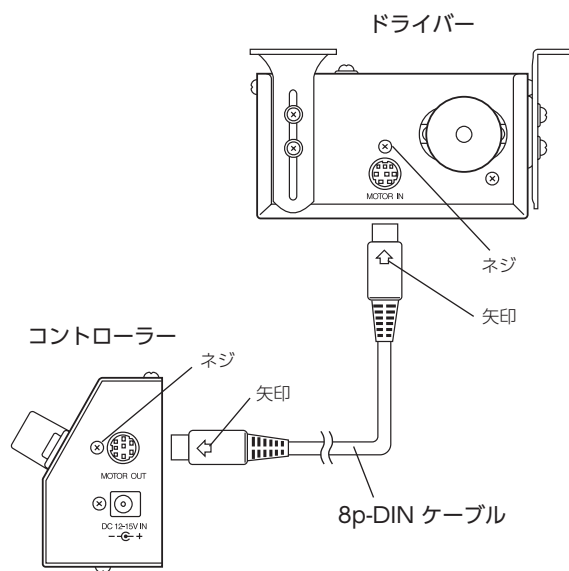


12. ドライバーとコントローラーを接続します。

ドライバーの MOTOR IN 端子とコントローラーの MOTOR OUT 端子とを、付属の 8p-DIN ケーブル* で接続します。ケーブルのプラグ部分の矢印(⇨)が各端子のネジ側に向くようにして、接続します。

※ 8p-DIN ケーブルを紛失された場合は、以下の No. にてご注文ください。

パーツ No.	部品名称
W5172200	8p-DIN ケーブル



13. 丸ベルト (ファンベルト) を取り付けます。

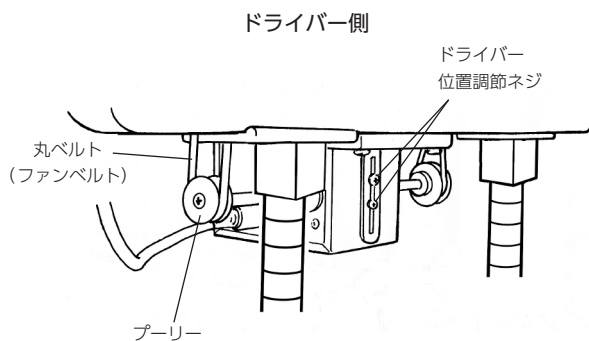
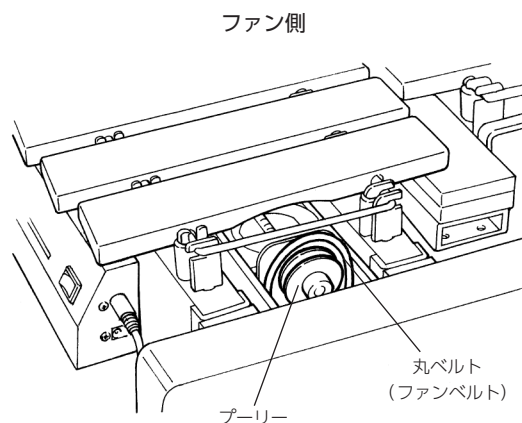
まずファン側プーリーに丸ベルト (ファンベルト) をかけます。

次にドライバー側プーリーにかけます。

プーリーの間隔が広すぎてベルトがかけられない場合や、逆に間隔がせまくてベルトが空回りする場合は、ドライバー位置調節ネジ(右図) 2本をゆるめてベルトの張り具合を調節してください。調節後は、しっかりとネジを締めつけておいてください。

※ 丸ベルト (ファンベルト) を紛失された場合は、以下の No. にてご注文ください。

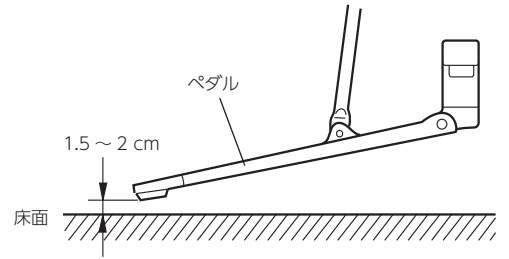
パーツ No.	部品名称
W5128041	ファンベルト



組立手順

14. ペダル踏みしろを調整します。

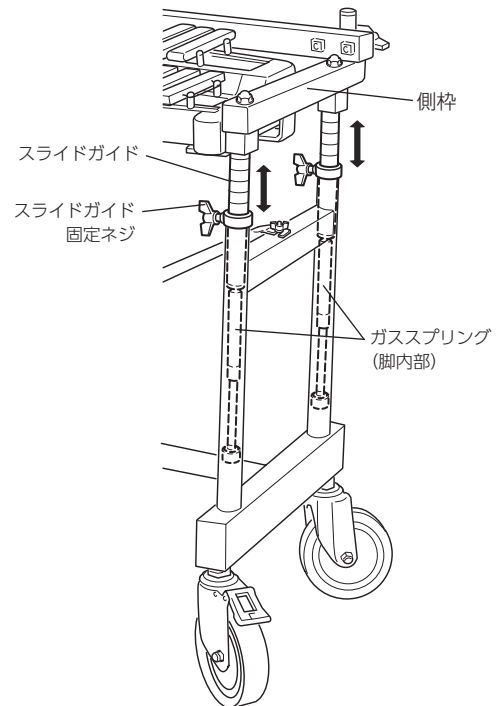
センターロッド固定ネジ (9 ページ参照) をゆるめ、センターロッドの長さを調整してから再び固定ネジを締めて、ペダルの踏みしろを調整します。ペダルと床面の間は 1.5 ~ 2cm が適当です。



15. 音板高さを調整します。

15-1. 低音側、高音側共にラックの側枠を手で支えながら、スライドガイド固定ネジをゆるめめます。

15-2. ガススプリングにより自動的に楽器が上昇します。希望する高さに合わせたら、スライドガイド固定ネジをしっかりと締め付けます。スライドガイドの線を目安にして、音板が床面と水平になるように調節してください。



16. すべて組み上げたら、各部のネジがしっかりと締まっていることを確認してください。

17. 付属のマルチパーカッションラック専用クランプ (RDC-10) をラックパイプに取り付けます。

※クランプは、使用するアクセサリーに合わせて自由に
取り付けることができます。

※イラストは取り付けの一例です。

17-1. 専用クランプの蝶ネジを緩めてスリットから
外します。

17-2. アクセサリーを設置する位置にクランプを差
し込みます。

17-3. ワッシャーがクランプの外側になるように、
蝶ネジをクランプのスリットに戻します。

17-4. 蝶ネジを締めてしっかりと固定します。

ご注意

- ・ 蝶ネジが緩んでいないことを確認してください。

18. クランプに追加するアクセサリーを取り付けます。

18-1. クランプネジを緩めてクランプを広げ、アク
セサリーを挟みます。

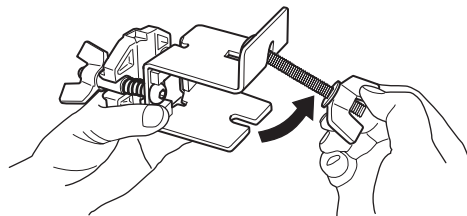
18-2. アクセサリーの幅に合わせてクランプネジを
締めて固定します。

ご注意

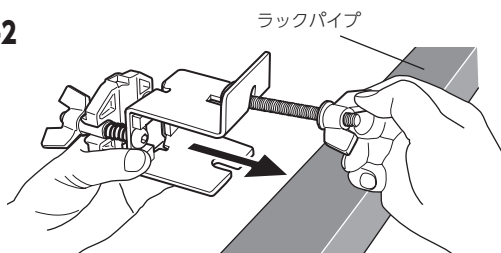
- ・ クランプネジが緩んでいないことを確認してください。

続いて、次ページの手順に従って、コントローラーの
電源端子 (DC 12-15V IN) に電源を接続します。

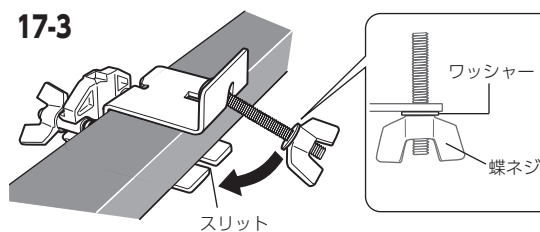
17-1



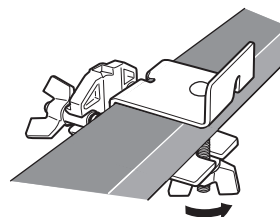
17-2



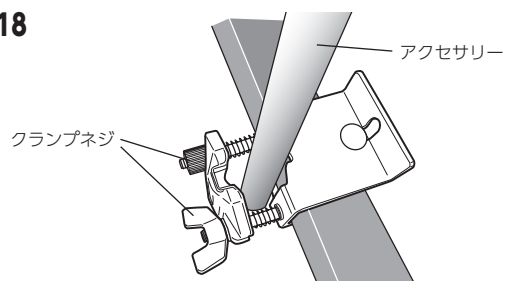
17-3



17-4



18



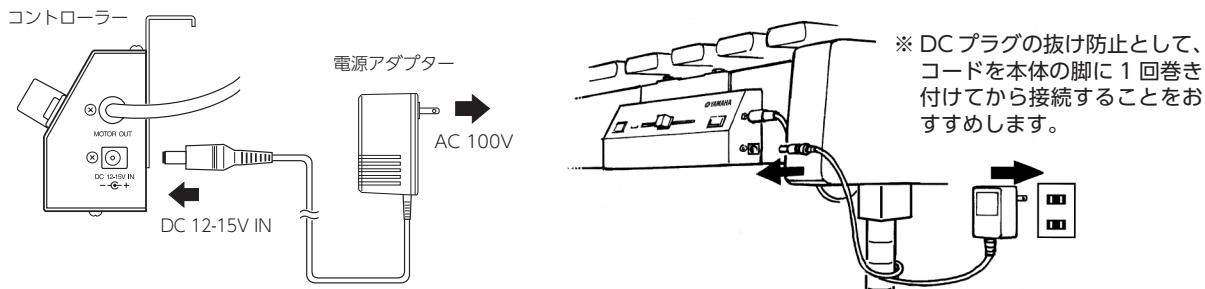
電源の準備

ビブラフォンドライブユニットは、電源として家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

● 家庭用コンセントから電源をとるときは

付属の電源アダプターを用意します。

- 1 電源アダプターの DC プラグをコントローラーの電源端子 (DC 12-15V IN) へ差し込みます。
- 2 電源アダプターの AC プラグを家庭用コンセント (AC100V) に差し込みます。



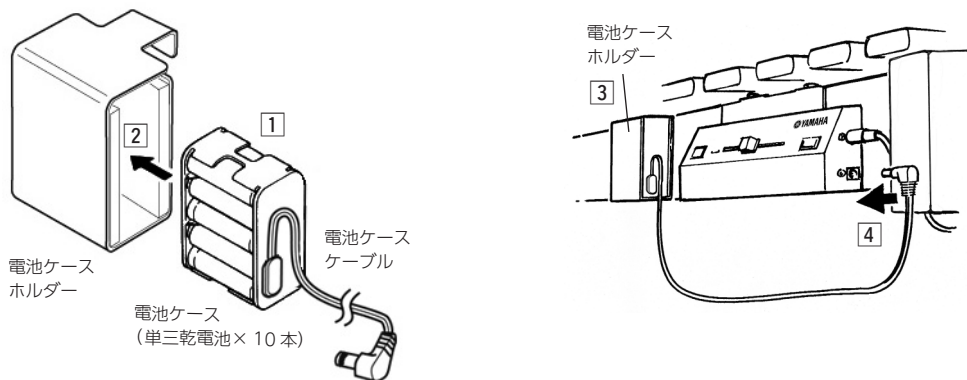
● 乾電池を使うときは

付属の電池ケース、電池ケースホルダーと市販のアルカリ / マンガン乾電池 (単三乾電池) を 10 本用意します。

- 1 乾電池を電池ケースに 10 本入れます。
電池ケース内側のイラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
(電池を外すときは手順 ① ~ ④ を逆の順番で行ってください。)
- 2 電池ケースを電池ケースホルダーに挿入します。
- 3 コントローラーの左隣に電池ケースホルダーをセットします。
- 4 電池ケースケーブルの DC プラグをコントローラーの電源端子 (DC12-15V IN) へ差し込みます。


ご注意

- ・ 電池が少なくなると、ファンの回転スピードが遅くなったりストップする場合があります。

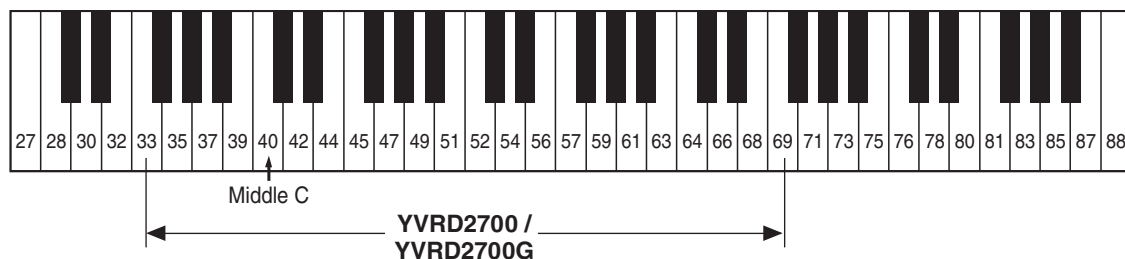


仕様

YVRD2700/YVRD2700G

音域	F33 ~ F69 (3 オクターブ)
基準ピッチ	A442 Hz
音板材	超高力アルミニウム合金
音板幅・厚さ	39 ~ 57 mm・13 mm
音板仕上げ	YVRD2700: マットシルバーアルマイト YVRD2700G: 鏡面ゴールドアルマイト
ドライブユニット	YVM-200 (ポーズ機能)
定格回転数	25 ~ 145 RPM
電源	電池: 単三型乾電池 (LR6/R6) × 10 本 電源アダプター: PA-3C (DC 12V, 700mA + )
消費電力	4.7 W
寸法	169 (間口) × 107 (奥行) × 85 ~ 100 (高さ) cm
質量	72 kg
キャスター	φ 150mm 大型キャスター (ダブルストッパー付)

●ピアノの鍵盤との比較



※本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

